

周産期からの子育て支援に取り組むスタッフをつなぐ

ハロー・ファミリーカード通信



「私たちは、妊娠・出産から始まる子育てを応援します」

第4号

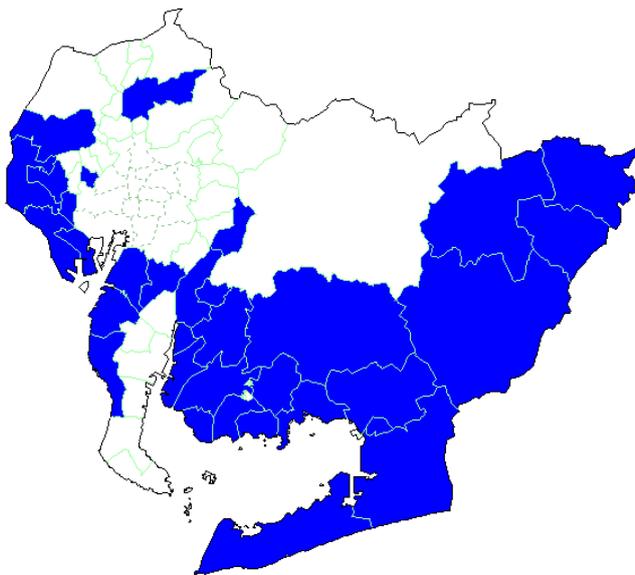
＜平成24年12月発行＞



～次世代の子どもたちを地域全体で支えよう～

平成18年1月から始まったハローファミリーカード・プロジェクトは、西尾保健所管内を皮切りに、隣接する衣浦東部保健所管内へひろがり、平成22年度には豊川保健所管内、岡崎市保健所管内、一宮保健所管内の稲沢市、知多保健所管内でも導入されました。また、平成23年度より春日井保健所管内の小牧市、津島保健所管内で導入されました。今年度は新たに3機関が加わり、合わせて**99機関**（35保健機関、48医療機関、14助産機関、1歯科医療機関、1福祉機関）が参加するプロジェクトとなりました。

プロジェクト参加地域



このプロジェクトは子育てをスタートする母に対し、医療現場と保健現場のスタッフが協働して子育て支援に取り組み、子育て不安の軽減や虐待予防を目指す取り組みです。カードは、子育て上の些細なことでも相談してよいという気持ちに母がなるための**支援ツール**であり、医療機関から保健機関につなげることの同意を母から得るための**連携ツール**でもあります。出産後に気になる母親にカードを渡しながら「お母さん、ひとりで悩まないで。心配なことがあれば、ここに相談していいんだよ。」という**メッセージ**と**安心**を伝えることができます。

カードの渡し方などは、各医療機関・助産施設、保健機関で工夫していただきます。名刺がわりに利用しているところもあれば、独自のメッセージを入れて相談しやすくしたり、医療機関の中には院内で実施しているケア内容を記載する等して、どのような支援が受けられるのか分かりやすくするための

工夫をしている所もあります。どの母にカードを渡そうかと子育て支援での見方をするようになったとの言葉も聞きます。今後もそれぞれの機関で創意工夫をしながら、カードを通して、子育てをする母に安心感を提供できるようにお手伝いしていきたいと思っております。

地域で活躍するハローファミリーカード

小牧市保健センター

〈小牧市の子育て支援ネットワーク〉

小牧市では、平成9年度からすべての親子が健やかに成長できる地域づくりをめざして、親子を支援する関係機関がお互いの役割を明確にし、連携を深め、どう支援していくかを検討する場として「小牧市母子保健推進協議会」を設立し、様々な事業を展開してきました。

妊娠、出産、子育ては1人の人間を育てていくとても大切なプロセスです。親にとっても楽しいことばかりではなく、たいへんなことがたくさんあります。会議においては「育児力とは何か」、「どのような家庭に支援が必要か」について平成22年度より議論を繰り返しました。その結果、「小牧市母子保健推進協議会」として、育児力のある家庭とは「必要な時にSOSを出せる家庭」、支援が必要な家庭とは「孤立している家庭（必要な時にSOSを出せない家庭）」をさすのではないかという意見に到達しました。

〈ハローファミリーカードの導入〉

子育て中の親子に関わる機関としてまず頭に浮かぶのが、産婦人科や小児科、保健所や保健センターなどがあげられますが、親子に関わる機関はそれだけではなく、子育て支援センターや歯科など様々な機関の様々なスタッフが関わっています。

そこで、「スタッフひとりひとりが、子育て支援機関の一員として親子に声をかけ、必要な時に適切な相談機関につなげる」という目標をかかげ、具体的な取り組み方法を検討してきました。そんな中、目にとまったのが、あいち小児保健医療総合センターの取り組みのひとつである「ハローファミリーカード・プロジェクト」です。

〈地域全体で親子を見守る～子育て支援関係機関の一員として〉

カードの表面には医療機関の名前や連絡先、裏面には対象者（相談者）の住む地域の保健センターと電話番号が記載されています。「SOSが上手く出せず、孤立している親子」を見かけたら、「お母さんががんばっていますね」、「何か力になれることはありませんか」と声をかけ、「ここに気軽に相談してくださいね。こちらからも声をかけておきますね。」と相談機関につなげます。カードを直接手渡しすることで、親も安心して相談することができます。

小牧市ではカードの導入を機に、年1回プロジェクト参加機関が集まり「子育て支援機関連携会議」を開催しています。各機関が同じ目的意識をもち、お互いの活動の理解を深め協力し合い子育てを支援していけるようハローファミリーカードの導入でつながった「子育て支援機関連携会議」はとても大切な会議であると考えています。ますます子育てがしづらい時代です。今後も「小牧市母子保健推進協議会」で議論をし、関係機関とともに、小牧市の子育て支援についてすすめていきたいと思ひます。

様々な機関と協力しながら、
地域の子育て支援の充実に向
けて頑張っています！！



医療機関を訪問してお話をうかがいました。

貴子ウィメンズクリニック

今回は津島市内にある「貴子ウィメンズクリニック」に訪問し、助産師の水谷師長さんにお話を伺いました。こちらのクリニックは平成15年12月に開院。平成19年からは、地域に根ざしたマタニティーケアを目指し、助産師外来を開始されました。助産師外来で



は、健診時に妊娠経過だけでなく、妊婦さん自身の家庭環境や不安に思っていることなどについても十分お話を聞くようにしています。そして出産後の子育てについて早くから見据えて少しずつ準備していくように促しています。また、退院後は一番不安が募る時期ですので、一週間後に健診の機会を設け、そこでお母さんと赤ちゃんに対して専門的にアドバ

イスができるようにしています。カードは平成23年から導入していて、1ヶ月健診時に全員に渡しているそうです。もちろん支援が必要なケースでは積極的に地域の保健センター等へ連絡して、妊娠中や産後のフォローにも配慮しています。それに対して妊産婦の方々から感謝の言葉を頂けたことを教えていただきました。

1歳まではベビーマッサージやベビーマッサージだけでなく、ハローウィンやクリスマス会などイベントを主催し、親子で楽しんでもらうようにしています。また、その時々のお母さんに不安があればお話を聞いています。2年前からはより複雑になっていく予防接種の相談を受けることが多くなったため、現在では1歳までの予防接種を実施できる体制にしたそうです。

一方で、高齢妊婦の増加、若い女性の最近の問題にも対処するため、院内に『啓発コーナー』を開設しています。また、性感染症の予防、無用な中絶の予防、子宮頸ガン予防ワクチンの推奨など、様々な資料やパンフレットを用意し啓蒙活動に取り組んでいます。



玄関を入ってから待合室へ行く途中にあるので、皆が必ず目にする場所に設置されていました！



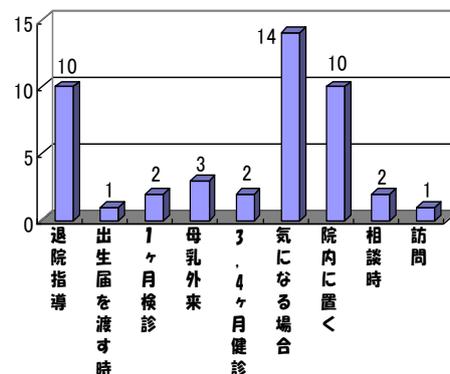
今回訪問して、様々な出会いの中からクリニックでできる支援を少しずつ広げ、地域の次世代の母になる年代の女性から子どもを持つ母まで、多くの女性を支えていることが良く分かりました。今後の一層のご活躍を私達も応援しています！

「様々な人で`協働`して支えることが重要と考えています」との水谷助産師長さんの言葉に大きくなすけました・・・

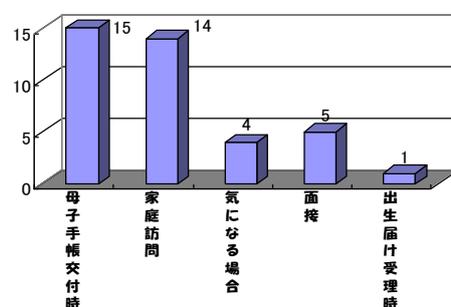
ハローファミリーカード・プロジェクト参加機関に聞きました

配布方法は、医療機関等では①気になる母がいた場合②退院指導時、院内に置いて自由に持ってもらう、などの回答が多く見られました。また、保健機関では①母子手帳交付時②家庭訪問時、などの回答が多く見られました。またグラフにはありませんが、カードにまつわる体験・印象については、医療機関等では「カードをきっかけに地域の関係機関へ繋ぐことができたり、連携をとりやすくなった」との回答が多くみられ、保健機関では「カードを見て電話をしましたとの相談を受けた」「地域の関係機関と連携をとりやすくなった」との回答が多く見られました。さらに「スタッフの子育て支援への意識に変化があった」「家族からカードの配布が安心感の提供につながったと言われた」については共通して多くの回答があり、カードをきっかけに様々な変化がありました。

配布方法（医療機関等）



配布方法（保健機関）



[あいち小児保健医療総合センターのホームページをご利用ください！](#)

◆周産期医療現場スタッフが取り組む子育て支援マニュアル

—周産期医療現場での親子支援に役立つ内容です—

<http://www.achmc.pref.aichi.jp/manual/kosodate/>

ユーザー名: **achemec** パスワード: **achemec** (ともに小文字で入力してください)

◆保健機関から医療機関へのPR

—愛知県内各市町村の妊娠中から乳幼児期の母子保健活動を掲載—

<http://www.achmc.pref.aichi.jp/Hoken/hokenkikanPR/hokenkikanpr.htm>

◆妊娠・出産・育児期に支援を必要とする家庭の地域における保健医療連携システム構築ガイドライン

—医療機関と保健機関の連携を考えるうえで必見です—

<http://www.achmc.pref.aichi.jp/Hoken/web/guideyanagawa.pdf>

◆愛知県乳幼児健康診査マニュアル(第9版)

—平成23年度から子育て支援の視点を取り入れた新しい健診体制になりました—

<http://www.achmc.pref.aichi.jp/Hoken/manual.html>

*ファミカ通信を希望される場合は必要部数をお送りしますのでご連絡下さい。



発行 あいち小児保健医療総合センター 保健センター 保健室

〒474-8710 大府市森岡町尾坂田1番2号

TEL (0562) 43-0500 FAX (0562) 43-0504

URL: <http://www.achmc.pref.aichi.jp/>